

# 月刊 社会保険 8

2020 VOL.84

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

## 認知症とともに生きる 家族の物語

● 第4回 ●

### 愛犬がつないだ絆

社会福祉法人心の会理事長  
特別養護老人ホームさくらの里山科施設長

わかやま みちひこ  
若山 三千彦



#### 全国でただひとつのペットと暮らせる 特別養護老人ホーム「さくらの里山科」

最近、愛犬、愛猫は家族であると考えている人が多いと思います。私にとっても3匹の愛犬は大切な家族です。そして、高齢者が大切な家族と別れないですむように、私は全国初のペットと一緒に入居できる特別養護老人ホーム「さくらの里山科」を設立しました。

現在10匹の犬と9匹の猫が、入居者と一緒に暮らしています。入居者とその愛犬、愛猫の間にはさまざまなドラマがありますが、その中でも強い印象が残っているのが、橋本雪代さん(仮名)と愛犬トイプードルのココ君のエピソードです。



橋本さんとココ君  
市内の公園にお出かけしたとき



#### 有料老人ホームと特養の違い

さくらの里山科に入居する前、橋本さんは有料

老人ホームで暮らしていました。ちなみに有料老人ホームというのは、その名のとおり費用がかかる老人ホームです。

その費用はピンからキリまであり、例えば入居金が100万円前後から1億円以上まであるようです。そして、有料老人ホームは、企業が経営できます。

それに対して特別養護老人ホームは、原則として社会福祉法人でないで経営できません。費用は介護保険等の公的補助があるので、本人が払える範囲内に収まります。入居金は0円で、月々の費用は多い人でも25万円くらいです。そこから本人の収入に応じて段階的に減り、最も少ない人は5万円程度です(費用は介護保険法等の改正によって変動します)。

なお、利用料の減額は、市役所等の地方自治体が、本人の収入にあわせて決定します。

#### 橋本さんの認知症発症とココ君の見守り

橋本さんが入居していたのは住宅型の有料老人ホームで、食事、洗濯、掃除などの家事サービスと、見守り・相談対応サービスはありましたが、基本的には介護サービスはついていないホームでした。

橋本さんは認知症を患っていました。有料老人ホームに入居した頃は軽度のもので、生活するには支障はなかったのですが、それがだんだん難しくなっていました。徘徊の症状が出てきて、

全国社会保険委員会連合会第28回定期総会について

令和2年度における年金委員の重点的な活動内容等について

日本年金機構からのお知らせ

事業主の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業で著しく報酬が下がった場合  
健康保険・厚生年金保険料の標準報酬月額を翌月から改定することが可能です。

全世代型社会保障検討会議 第2次中間報告(概要)

突然ホームから出ていってしまうようになったためです。徘徊を止めることができなかつたんですね。ほとんど毎日徘徊していた橋本さんですが、幸い行方不明になることはありませんでした。ココ君が一緒だったためです。橋本さんは突然出ていくときも、必ずココ君を連れていきました。絶対にココ君を置いてはいかなかったのです。そして、外に出て、さまよい歩いている橋本さんをココ君が引っ張ってホームまで誘導してくれました。2人の絆のおかげで、橋本さんは毎回無事にホームに帰ってこられたのです。

## さくらの里山科に入居

しかし、結果として行方不明になることはなくとも、ホームとしては橋本さんがいなくなつたら、放つてはけません。職員は探しに行かなければならず、ホームの業務がまわらなくなつてしまつた。そこで退居を要請されてしまいました。

一方、橋本さんの息子も限界でした。橋本さんが長時間ホームに戻らない場合は、呼び出されるためです。少し遠方で暮らしていた息子にとつて、たびたびホームに呼び出されるのは大変なことでした。息子にとつても、橋本さんがそれ以上そのホームで暮らしつづけるのは耐えられなかつたのです。

そこで息子は、ペットと一緒に入居できる全国唯一の特別養護老人ホームである「さくらの里山

をペロペロとなめました。しかし橋本さんは一切反応を示さなかつたのです。

橋本さんは、理解力や感情が完全になくなつたわけではありません。切れ切れの単語のみですが、言葉を発することができ、職員と最低限の会話は成り立ちました。しかし、ココ君には決して声をかけようともしませんでした。ココ君のことが記憶から抜け落ちてしまつたかのようにでした。

認知症が進行すると、家族のことがわからなくなることはしばしばあります。妻や夫、あるいは息子や娘のことがわからなくなつてしまうのです。だから、愛犬のことがわからなくなつても不思議はありませんでした。ただし、それまでの私たちの経験では、息子などのことがわからなくなつても、愛犬のことだけはわかるという人が多かつたので、橋本さんの症状は意外でした。

認知症は、まだそのメカニズムや治療法がわかっていない病気です。大分研究が進んできて、進行を遅らせる薬はいろいろできていますが、認知症の症状を回復することは今のところ非常に困難です。

## ココ君の諦めない気持ち

橋本さんについても、認知症がここまで悪化した以上、ココ君のことを思い出させるのは不可能だろうと職員も医師も諦めていました。職員は、皆ココ君に同情していました。あんなに慕っているのに、もう2度と橋本さんにはかわいがつても

科」に入居を申し込みました。

橋本さんがいた有料老人ホームは埼玉県にありました。息子は東京在住です。そしてさくらの里山科は、神奈川県横浜市の管轄下にあり、特別養護老人ホームは、地方自治体の管轄下にあり、原則としてその自治体の住民しか入れません。住民票がない人をどれくらい受け入れていいかは、自治体によって異なります。

横須賀市は、定員の2割まで横須賀市民以外の高齢者の受入れがOKとなつています。そこで私たちは、その2割の市外枠は、ペットと同伴入居を希望する人を優先することにしていきます。今はまだペットと一緒に入れる特別養護老人ホームは、全国でもひとつしかないためです。



橋本さんとココ君は、さくらの里山科で穏やかに暮らせるようになりました。特別養護老人ホームでは、認知症が重度の人はいません。徘徊の症状を持つていて人も少なくありません。それに対応できる介護体制があります。だから橋本さんを

らえないだろうと。

しかし1人だけ、諦めていない存在がいました。皆から同情されていたココ君だけは決して諦めなかつたのです。

ココ君はいつも橋本さんと一緒にいました。職員が車椅子を押して移動しているときは、いつも隣を歩いていました。橋本さんが寝ているときは寄り添っていました。そのつぶらな瞳はゆるぎまみませんでした。ただ、ただ、ひたむきに橋本さんを見つめていました。

相手が自分のことを忘れてしまつても、ひたすら愛情を注ぎつづける。ココ君の橋本さんへの気持ちは、まさに無償の愛だったのです。

犬のすばらしい忠誠心は、いろいろな物語になつていきます。私はココ君の忠誠心と愛情は、そのような名犬たちに匹敵するものだと思つていました。そしてココ君の無償の愛が奇跡を起こしました。ある日、橋本さんが「ココ、ココ、ココちゃん」と名前を読んだのです。関節が動きづらくなつている腕を必死に持ち上げて、ココ君を撫でたのです。

ココ君は狂喜乱舞して、橋本さんに抱き着きました。それを橋本さんは、抱きしめようと精一杯努力していました。

ココ君の無償の愛が認知症に打ち勝つたのです。現代医学が不可能なことをココ君が成し遂げたのです。認知症で1度は失われた家族の絆が再び結ばれたのです。

受け入れても、なんら問題はありませんでした。ココ君もホームにすぐ慣れ、楽しそうにしています。大好きな橋本さんと一緒なので、新しい環境でも安心だったのでしょう。

こうして、橋本さんとココ君、家族2人の生活は安定したのですが、残念ながら長くはつづきませんでした。入院をきっかけに、橋本さんの認知症の症状が大幅に悪化してしまつたのです。

## 橋本さんの骨折とココ君

さくらの里山科に入居して1年近くがたつたとき、橋本さんは転倒して大腿部を骨折してしまいました。不運なことに複雑骨折だったため、入院期間は2カ月に及びました。

橋本さんの入院中も、ココ君はもちろんホームでそのまま生活していました。もともとココ君の世話には介護職員がしていますので、ココ君の生活はあまり変わりません。寂しかったでしょうが、他の犬や入居者と楽しそうに遊ぶこともありました。

2カ月が経ち、やっと橋本さんが車椅子に乗つて帰ってきたとき、ココ君は大喜びして、膝の上へ飛び乗りました。

しかし、橋本さんはココ君を見向きもしなかつたのです。能面のように固まつた顔には、なんの表情も浮かびませんでした。

ココ君はキュン、キュンと切ない声をあげて、橋本さんの胸にすがりつきました。橋本さんの顔

橋本さんとココ君の、穏やかな家族の日々が再び戻ってきました。橋本さんの認知症が治つたわけではありません。ココ君のことを思い出しただけで、その他の症状は進行しています。いろいろなことができなくなつていきました。しかし、取り戻したココ君との絆だけは失われません。今でも2人はさくらの里山科で幸せに暮らしています。最後に補足しますが、ペットが認知症の特効薬というわけではありません。音楽好きの人にとつて、音楽が認知症進行を予防する効果がある場合があります。それと同じように、ペットが好きな人にとつて、ペットと暮らすことが認知症進行を予防する場合があります。決して特効薬にはならないのですが、それでもすばらしいことだと思つていきます。

## 新刊紹介

### 看取り犬・文福

人の命に寄り添う奇跡のペット物語



若山 三千彦 著  
宝島社 / 1,300円(税別)  
2020年6月20日発行